

2019 環境レポート

The earth is defended by recycling.
It challenges the recycling of limited natural resources.

Re-Cycle is Re-Fresh

リサイクルで地球を護る



株式会社 田中商会

レポート対象期間: 2019年7月1日～2020年6月30日

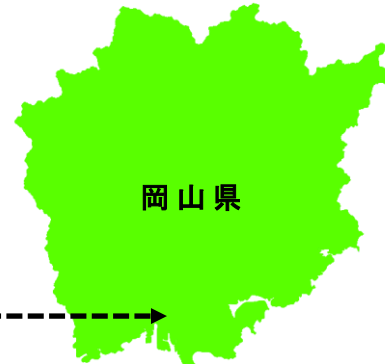
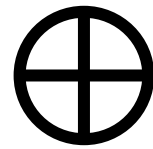
発行日: 2020年9月17日

◆ 目 次

◆ 組織の概要	1
◆ 沿革	2
◆ 車両・機械・設備一覧	3
◆ 事業許可一覧	4
◆ 処理工程図	5
◆ エコアクション21実施体制	6
◆ 対象範囲	7
◆ 経営理念・環境経営方針	8
◆ 環境目標・環境活動計画・取組結果・評価	9
◆ 評価・次年度の取組	10
◆ 目標と実績の比較(グラフ)	11
◆ 受託した産業廃棄物の処理量	12
◆ 環境への負荷の状況(取りまとめ表)	13
◆ 環境関連法規等の遵守状況及び訴訟の有無	14
◆ 代表者による全体の評価と見直し	15
◆ その他の環境活動	16

◆ 組織の概要

・事業所名	株式会社 田中商会
・代表取締役	室山 敏彦
・所在地 本社	〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395
水島作業所	〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通1-1950-4
・URL	https://www.tanaka-rc.co.jp
・法人設立年月日	1952年5月7日
・資本金	1,000万円
・従業員数	77名
・床面積	27,210㎡
・2019年度処理量 (産業廃棄物)	収集運搬 346.55t 中間処理 943.73t
・2019年度売上高	2,670百万円
・環境管理責任者	田中 剛
・環境事務局	大垣 史浩 橋本 大介



本社工場

事業内容

製鋼原料

引き取り現場に応じ、ダンプ・ヒアブ・パッカー・ウィングなど様々な車両にて鉄スクラップ・紙類・非鉄金属を回収し、自社工場内で大型ギロチンシャー・プレス・シュレッダー・ベアラーなど様々な処理設備を駆使しそれぞれ最適なサイズや形状に加工し付加価値を付け、鉄スクラップは製鋼原料として、紙類は製紙原料として、非鉄金属は種類ごとの原料として、それぞれのメーカーに納めております。

製紙原料

非鉄金属

産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬
企業の事業活動の中で排出される金属、繊維、ガラスなどの「産業廃棄物」や事業所から出される事業系「一般廃棄物」の収集運搬を行っております。

産業廃棄物処分業(中間処理)
企業の事業活動に伴って生じた産業廃棄物は分別や粉碎により減量化し、その他選別・破碎・焼却等の中間処理を行っております。

一般建設業 とび土工・解体工事業
工場・プラント設備や鉄骨建屋などの解体を行っております。解体で発生する金属屑は全て自社でリサイクルします。

計量事業証明書
法定計量単位により物証の状態の量を測り、その結果に関し、公に又は業務上他人に、一定の事実が真実である旨を証明する事業です。

◆ 沿革

年 表

- 1901年 田中仁三郎が田中屑物店として創業
- 1940年 戦時企業合同
- 1945年 田中兄弟商店として復帰
- 1952年 株式会社田中商会として法人化
代表取締役任に田中勝が就任
- 1969年 倉敷市中島 現在地に移転
- 1974年 500トンギロチン導入
- 1976年 本社東南土地購入
- 1977年 倉敷市水島西通りで伸鉄材加工に進出
現在の水島作業所
- 1980年 本社東南土地に製紙原料工場新築
- 1984年 倉敷市水島で薄板剪断加工に進出
現在の工作所
- 1987年 800トンギロチンに更新
- 1988年 古紙ベアリングマシン導入
- 1990年 代表取締役に田中穰が就任
- 1991年 本社南土地購入
- 1993年 本社南土地に工作所新築(薄板剪断工場)
- 1997年 機密書類用シュレッダー導入
- 1997年 製鋼原料工場更新
- 1998年 産業廃棄物収集運搬業許可
- 1998年 古紙ベアリングマシン2号機導入(2基体制)
- 2002年 一般廃棄物収集運搬業許可
- 2004年 産業廃棄物処分業許可
- 2004年 自動車リサイクル法解体・破碎許可
- 2005年 スクラッププレス機更新
- 2009年 プライバシーマーク認証
- 2010年 エコアクション21認証
- 2012年 ミニスリッター導入(工作所)
- 2012年 1000トンギロチン更新
- 2014年 代表取締役会長に田中篤が就任
取締役社長に室山敏彦が就任
- 2015年 機密書類用シュレッダー更新
- 2016年 とび・土工事業
- 2018年 解体工事業
- 2018年 古紙ベアリングマシン更新
- 2018年 代表取締役に室山敏彦が就任

【昭和40年 本社】



明治34年2月田中屑物店として創業し、昭和16年太平洋戦争中である日本において企業合同が行われ我社も一旦はその名前を失いますが、終戦の年である昭和20年に田中兄弟商会として復帰。その後昭和27年5月に株式会社田中商会として新たなスタートを切りました。

昭和52年に水島作業所・平成5年に工作所を創設し、製鋼原料部・製紙原料部・工作所・水島作業所の4部署での現体制が固まりました。

【水島作業所】



【機密書類用シュレッダー導入】



その後も大型機械の導入や更新、プライバシーマーク・エコアクション21の認証も受け、更なる進化を続けております。

【平成5年 本社】



『創業110年の歩みとともに、これからも使命を終えた屑を、再び生まれ変わらすこの事業に、誇りを持って歩み続け、邁進する所存です。』

2011年 代表取締役 田中 穰



変化するリサイクルの世界に挑戦し続ける

◆ 車両一覧

車種	台数	備考
大型ヒアブ付車両	3台	
8tヒアブ	1台	
5.5tヒアブ	1台	
10tマルチ	2台	
8tマルチ	1台	
4tマルチ	2台	
25tラフタークレーン	1台	リフマグ付き

車種	台数	備考
8tパッカー	1台	
4tパッカー	3台	
平ボディ	2台	8t・4t・2t
4バン	2台	
2バン	1台	
軽トラック	1台	
営業車	2台	



◆ 主要機械一覧

車種	台数	備考
油圧ショベル	5台	マグネット仕様
	1台	ラバウンティ仕様
	1台	破砕機仕様
	1台	ミニ3.6t
ショベルローダー	4台	

車種	台数	備考
フォークリフト	9台	
	1台	8t
クランプリフト	1台	
フォークローダー	3台	
スーパー	2台	



◆ 主要設備一覧

設備名	設置数	備考
ギロチンシャー	1基	
三方締めプレス	1基	
ジャンボシャーリング	1基	
天井クレーン	2基	Wクレーン1基
ナゲット	1基	
スケール	2基	60t・40t
紐取選別機	1基	

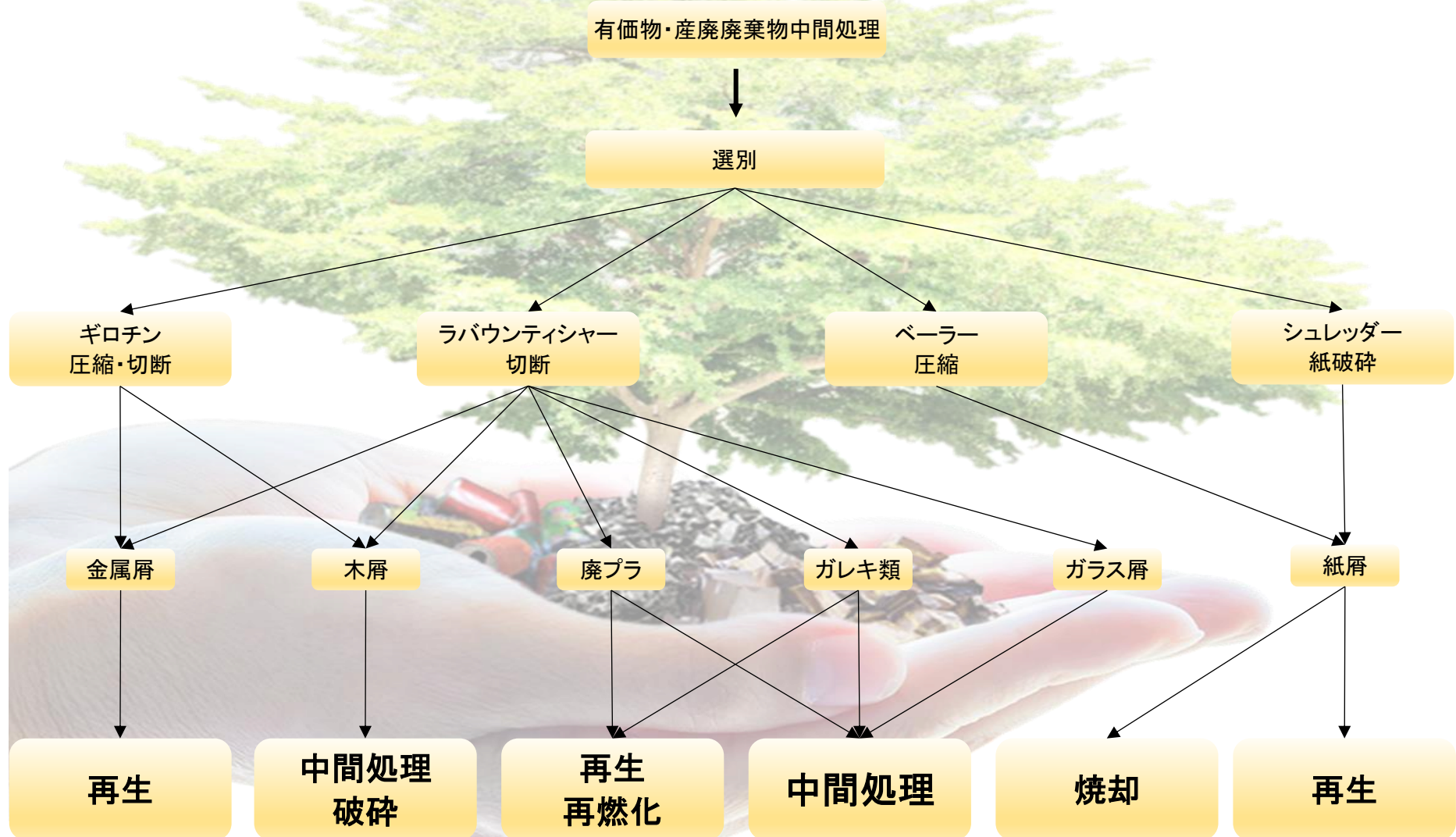
設備名	設置数	備考
ベアリングマシン	3基	
シュレッダー	1基	
ミニスリッター	1基	
2連式オシレート巻機	1基	
フルオートシャー他	4基	
プレス機	2基	60t・80t
ホイス	9基	4.8t・2.8t・1t



◆ 本社事業許可状況一覧

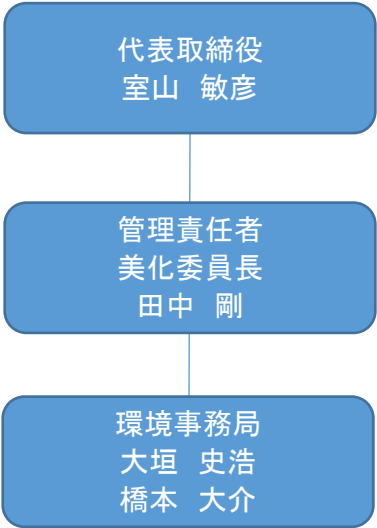
事業許可内容	許可番号	許可年月日 (更新年月日)	許可有効期限
岡山県産業廃棄物収集運搬業 種類:汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、動植物性残渣 金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類	03303057853	H31.1.17	R5.12.23
倉敷市産業廃棄物処分業 事業の範囲(中間処理) 圧縮:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (三方締めプレス 100t/日(8時間)) 切断:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 がれき類(ラバウンティシャー 80t/日(8時間)) 圧縮・切断:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (キロチンシャー 200t/日(8時間)) 被覆電線剥離:廃プラスチック類、金属屑 (ナゲット 1.6t/日(8時間)) 圧縮梱包:廃プラスチック類、紙屑 (ペーリングマシン 160t/日(8時間)) 破碎:紙屑(9.6t/日(8時間))	10020057853	R1.10.11	R6.9.21
岡山県特別管理産業廃棄物収集運搬業 種類:廃酸、廃アルカリ	03353057853	H28.8.1	R3.7.24
使用済自動車引取業(倉敷市)	21001000054	H29.6.11	R4.6.10
使用済自動車破碎業(倉敷市)	21004000054	R2.1.24	R6.11.30
使用済自動車解体業(倉敷市)	21003000054	R2.1.24	R6.11.30
倉敷市一般廃棄物収集運搬業(積替保管)	11	R2.4.1	R4.3.31
第一種フロン類充填回収業者	331130037	H29.4.25	R4.4.24
一般建設業(とび・土工工事業)	般一27 24916	H28.3.30	R3.3.29
古物商許可	14516	H9.5.23	
岡山県再生事業者登録	14	H5.11.26	
一般建設業(解体工事業)	般一1 24916	R1.5.30	R6.5.29

◆ 処理工程図

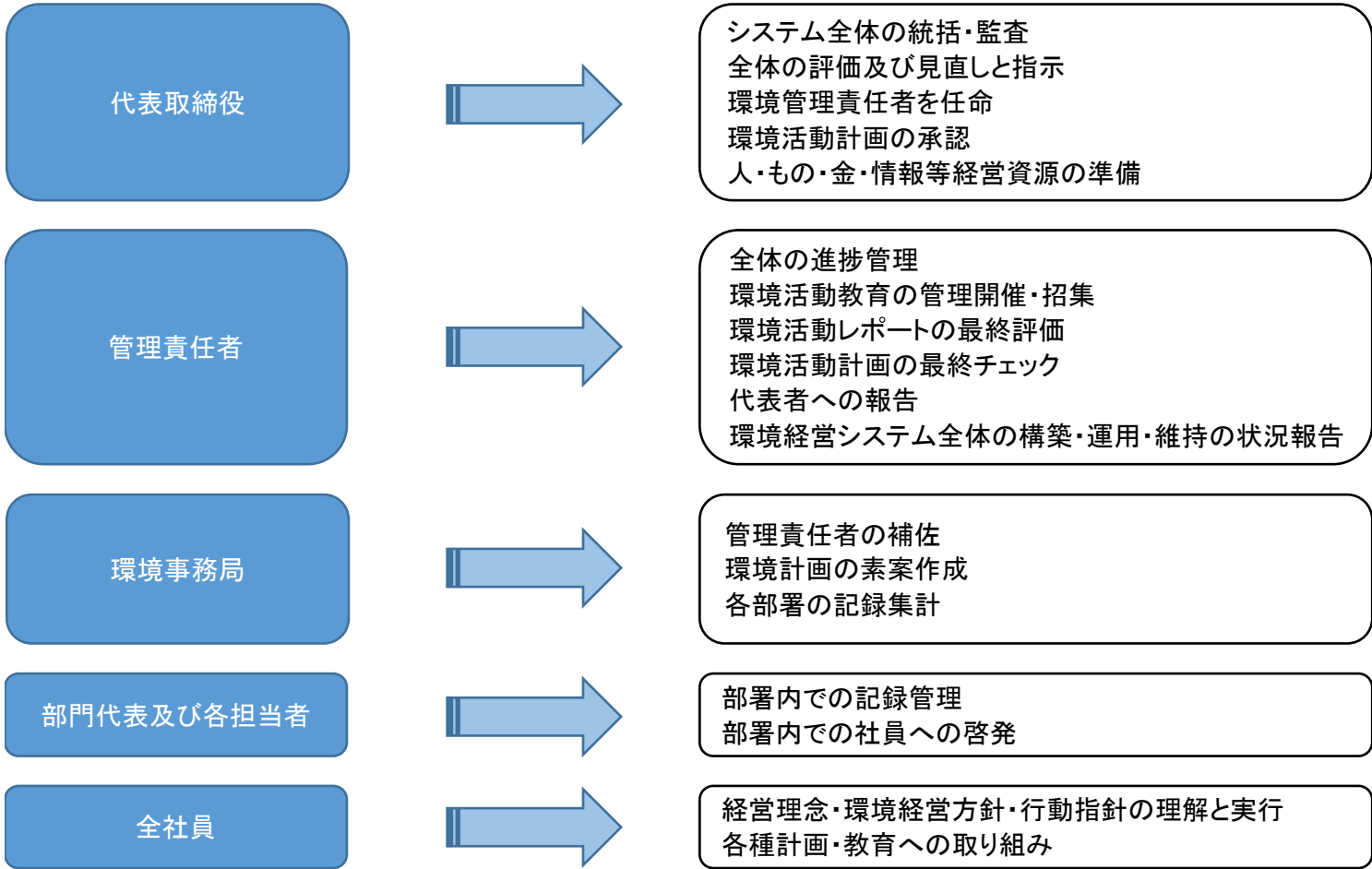


◆ エコアクション21 実施体制

株式会社田中商会では各部署にEA21担当者を定め、更に部署内で燃料・電気・水・廃棄物の削減担当者を選任し、全従業員が当事者意識を持てるように工夫し、全員参加型の実施体制を構築しております。



役割・責任・権限



◆ 対象範囲

○ 認証・登録範囲

- ・金属類、紙類の再資源化
- ・金属の加工及び販売
- ・廃棄物(一般・産業)の収集運搬及び中間処理

○ レポートの対象期間

- ・レポート対象期間 : 2019年7月～2020年6月
- ・レポート作成 : 大垣 史浩 橋本 大介
- ・レポート承認 : 田中 剛

○ 対象組織

本社(倉敷市中島)

- ・製鋼原料部(8500㎡)
 - ・金属屑の回収及び加工販売
 - ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理
- ・製紙原料部(6000㎡)
 - ・古紙の回収及び加工販売
 - ・機密書類のシュレッダー
- ・工作所(3500㎡)
 - ・薄板のシャーリング加工及びスリット加工

水島作業所(倉敷市水島)

- ・水島作業所(9210㎡)
 - ・厚板の選別及び切断

玉島工場(倉敷市玉島)

- ・循環推進部(8260㎡)
 - ・破碎機による雑品の資源リサイクル
 - ※ 設立間もない部署なので、来季はデータ収集のため対象には加えません。
- ・対象追加目標年度は2021年度
- ・作業内容が製鋼原料部と変わらないため計画・目標に追加項目は無く、目標数値については来季に収集するデータにて検討を行う。



製鋼原料部



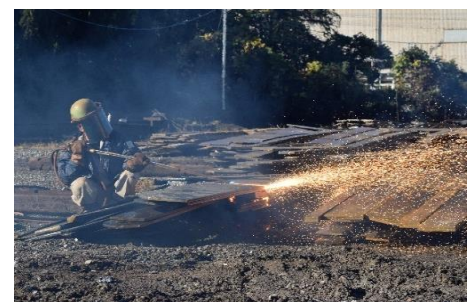
製紙原料部



工作所



本社入口



水島作業所

◆ 経営理念

国益を重んじ社会貢献に努め取引先に愛され、
もって社員の未来を重視すると共に、
子孫より預託された環境を保持し、
且つ改善の一助たるべく社内にあって自己完結を目指し、
その実行に向け総ての努力を傾注する。

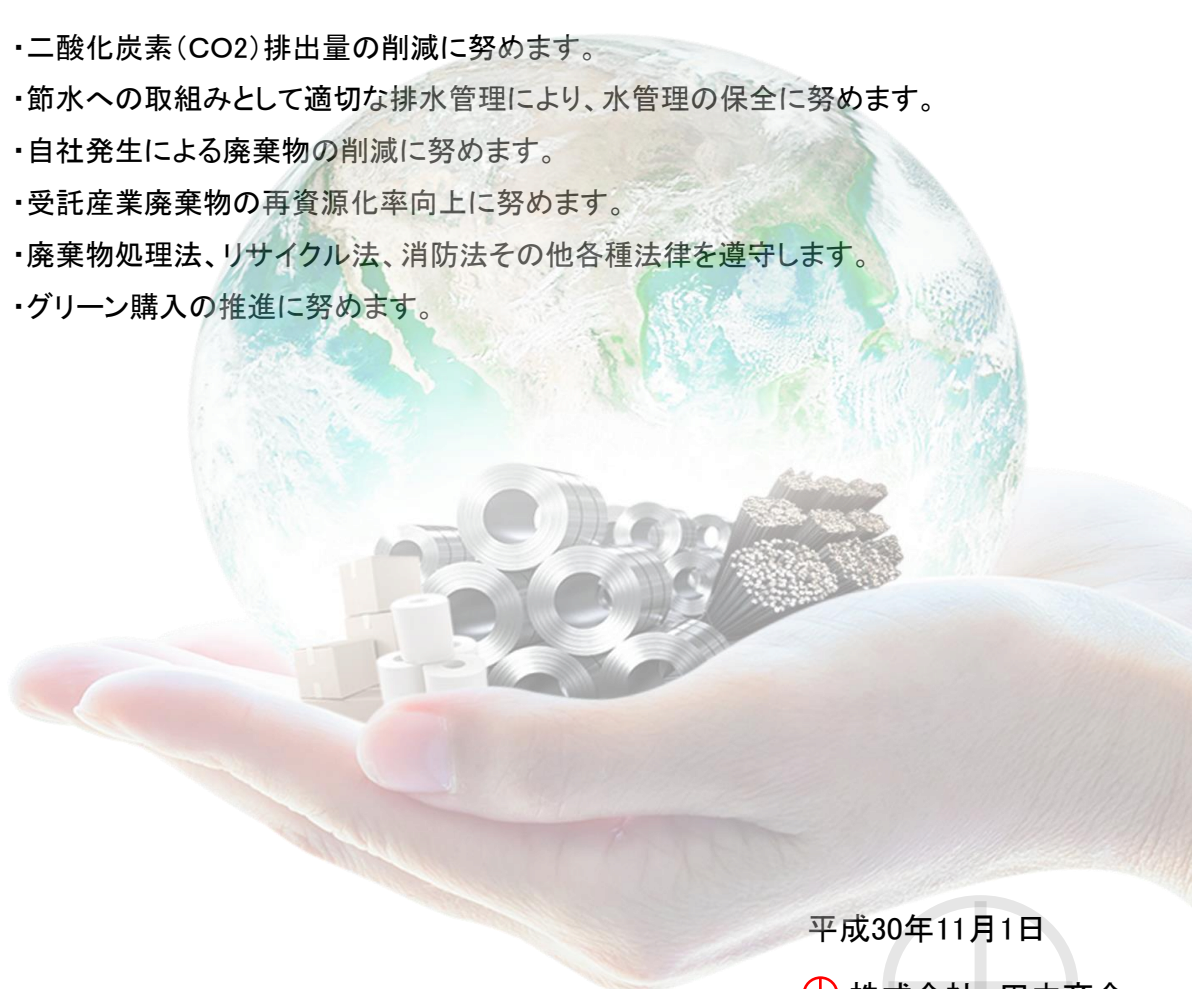
◆ 環境経営方針

株式会社 田中商会は「リサイクルで地球を護る」をスローガンに再生資源の回収・加工から廃棄物の収集運搬・中間処理に至る業務を通じて社内自己完結を目指し3Rの普及・推進に努めてまいります。

そして、周辺環境に十分配慮しながら、国家・地域行政と共に循環型社会構築の活動に貢献することにより、経営理念に基づいた環境経営を推進していきます。

行動指針

- ・二酸化炭素(CO2)排出量の削減に努めます。
- ・節水への取り組みとして適切な排水管理により、水管理の保全に努めます。
- ・自社発生による廃棄物の削減に努めます。
- ・受託産業廃棄物の再資源化率向上に努めます。
- ・廃棄物処理法、リサイクル法、消防法その他各種法律を遵守します。
- ・グリーン購入の推進に努めます。



平成30年11月1日

⊕ 株式会社 田中商会

代表取締役 室山 敏彦

環境活動計画及び評価

環境目標を達成するための活動を「化石燃料・電力」「水」「自社発生による廃棄物」「受託廃棄物」「環境配慮」の5つの観点から環境活動計画として定め、環境事務局を責任者とし実施する。また半期と年度末には評価を行うと共に、PDCAに基づき必要な改善を図り目標達成に努めます。

環境活動計画及び目標達成手段		結果	次年度への取組内容
化石燃料	エコドライブ	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	アイドリングストップ	△	出来ていない人も散見されるため、更に徹底させる必要がある。
	効率的なルート選択	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	1回の運搬量を増加させる	△	混載できない原料がある為、効率の低下が見受けられた。
電力	エアコンの温度管理	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	各設備不使用時の電源OFF	△	消し忘れもあるようなので、更に徹底させる必要がある。
	各設備の稼働率向上	△	更なる稼働率の向上が必要。
水管理	地下水及び雨水の使用	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	蛇口の締め忘れチェック	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	排水は油水分離槽にて管理する	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
廃棄物	3Rの徹底による廃棄物の削減	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	定期的な社内教育	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
環境配慮	車両点検による騒音及び廃棄抑制	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	会社周辺の清掃(2回/年)	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	グリーン購入の推進	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。
	化学物質の適正な管理及び委託	○	取り組みが出来ていたので今後も継続する。

※○:取り組みが出来た △:更に取り組みが必要 ×:取組が出来ていない

中長期目標及び結果

※炭酸ガス総量は1,190,249kg-CO2

		基準年度 2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対象年度 2019年度			
		目標値	結果	目標値	結果	目標値	結果	目標値	結果	実績	生産(t)	目標値	結果
削減目標	化石燃料 (kg-CO2/t)	4.99	5.72	4.89	6.12	4.79	6.36	4.7	6.91	633,602	93,438	4.60	6.78
	電力 (kg-CO2/t)	5.04	5.34	4.94	5.14	4.84	4.84	4.74	5.44	556,647	99,761	4.65	5.58
	温室効果ガス合計 (kg-CO2/t)	10.03	10.68	9.83	10.89	9.63	10.8	9.44	11.86	1,190,249	99,761	9.25	11.93
	水 (m ³)	2983	2591	2923	3628	2865	4378	2806	2474	—	—	2,751	2623
	自社発生産業廃棄物 (t)	129	155	126.4	149	123.9	149	121.4	88.7	—	—	119.0	46.6
	自社発生一般廃棄物 (t)	87.4	74	85.7	85.3	83.9	63.1	82.3	71.76	—	—	80.6	103.5
増加目標	グリーン購入 (%)	28.6	47.7	29.2	29.7	29.8	42.4	30.4	51.1	—	—	31.0	56.1
										取扱量(t)	再資源化量	目標値	結果
	廃棄物再資源化率(自社分) (%)	53.0	74.6	54.0	75.0	55.0	56.6	56.0	51.4	46,640	33,873	57.0	72.6
	廃棄物再資源化率(受託分) (%)	53.0	63.4	54.0	66.8	55.0	64.8	56.0	61.9	943,730	541,570	57.0	57.4

※化学物質は使用していない為目標には設定していない ※中長期目標の増加・削減率は年2%とする ※基準年の目標値は過去3年(2012～2014年度)の平均値を使用

※CO2実排出係数は中国電力の2014年度分(0.706kg-CO2/Kwh)を使用 ※化石燃料と電力の生産量の差異は化石燃料を使用しない部門があるため

※来年度は玉島工場稼働により本社取扱量減少の可能性があり目標の設定が困難になる為、暫定的に今年度同一の目標値にする。2021年度に改めて中長期目標を設定する。

取組結果

各部門のエネルギー及び水使用目標達成率(%)

※下記パーセンテージ=各月の目標値/実数値

		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年間
電力	製鋼原料部	88.7	78.4	85.9	84.9	83.4	52.0	92.4	93.5	81.3	73.6	60.5	80.2	78.7
	製紙原料部	111.6	106.3	114.7	109.6	110.3	99.7	91.0	96.5	90.6	95.6	106.5	111.1	103.1
	工作所	81.3	60.1	78.2	74.3	86.9	70.6	71.4	77.0	85.3	75.5	81.7	84.1	76.6
	水島作業所	86.8	70.1	77.7	82.4	86.5	72.2	81.4	87.8	107.7	96.3	108.6	101.2	86.6
	全部署	84.6	74.5	83.6	85.3	89.1	77.1	75.9	85.3	84.3	79.4	83.6	87.3	82.4
化石燃料	製鋼原料部	67.6	68.5	70.9	72.3	67.2	61.7	79.1	70.3	71.6	53.4	64.1	56.5	66.7
	製紙原料部	78.1	69.7	67.6	82.1	73.6	69.9	76.8	68.3	79.8	64.6	68.3	69.9	72.1
	水島作業所	99.8	75.6	78.1	108.3	91.0	82.6	104.4	85.0	102.8	75.8	101.7	67.1	88.4
	全部署	71.4	65.3	65.2	75.4	69.5	63.8	79.2	67.6	76.0	57.2	70.7	56.9	67.8
	本社		67.4		64.9		68.5		81.6		80.8		77.9	72.9
水	3工場	103.1		90.5		112.6		116.2		105.6		107.1		105.2
	水島作業所	136.9		104.8		156.7		140.7		146.2		161.7		138.4
	全部署		101.4		88.0		109.7		113.7		109.4		111.8	104.9

一般廃棄物・産業廃棄物の削減目標達成率及び産業廃棄物の再資源化率(%)

		7月-9月	10月-12月	1月-3月	4月-6月	年間
受託産業廃棄物の再資源化率		54.4	58.3	64.2	48.8	57.4
自社発生産業廃棄物	削減目標達成率	147.5	274.8	571	285.2	255.1
	再資源化率	92.4	45.3	56.3	70.9	72.6
一般廃棄物削減目標達成率		116.7	61.9	79.8	70.9	77.9

各部門長による評価及び次年度の取組

<製鋼原料部>

製鋼原料部では大変厳しい結果の年度になった。全体評価は原料の発生がアメリカと中国の貿易摩擦や本年2月以降のコロナ禍の影響で激減した。その最中、手のかかる複合材が大変増えたため目標値を達成できなかった。

電力については新規部門の増員や片づけを行うために12月に夜間照明を増強し残業での電力消費が増えたため目標値の半分近くになった。化石燃料については一回で運ぶ量が減った事と手のかかる複合材が増えたため8月より小型重機を2台にして残業した結果片付けは進んだが目標値を達成する事はできなかった。

次年度は11月に新部門が立ち上がり、それぞれの役割が明確になるので改めて教育などを行い目標値を達成するために努力する。

製鋼原料部 松浦 洋己

<製紙原料部>

2年前に更新したペーラー機(省エネタイプ)が寄与し、電力については達成できた。新しいペーラー機はインバーターで荷物が無いときは自動でコンベアが止まる仕組みになっているので節電効果は大きい。ただもう一基のペーラー機は古く、最近修繕費も増えてきていることから更新時期に来ているかもしれない。また、今年に入りコロナショックの影響で古紙の発生が減少し、1~2割の入荷減となった。引取車両での回収コストは変わらない為、その分化石燃料の目標値には程遠い結果となってしまった。入荷減時の回収ルートの見直しなど、市況に合せて柔軟な対応が必要と痛感させられた。

製紙原料部 田中 期

<工作所>

5年間の中長期目標において最後の年になり目標値も高く今年度は達成には至らなかった。

原因は生産量が低下したにも関わらず受注の時期が困窮し生産時間を短縮することが出来なかったことが大きな原因と考えられる。

昨年まで行っているエコアクション担当者や節電に対する意識改革、機械の保守点検の効果は数値の面では表れなかったが、工場内での作業員同士の声掛けによる節電意識の向上及び機械の突発的な故障などは無く生産能力の向上は出来ていると思われる。

工作所 大垣 史浩

<水島作業所>

前年度達成できていた電力ですが、本年度は隣接する工場の拡大工事が本格化し敷地面積の削減による作業手順の変更及び扱い量の低減などの影響が出たのか本年度は達成出来ませんでした。

化石燃料は前年に比べやや改善されましたが、まだまだ是正すべき点があると思われるので今後努力していきたいとします。

次年度についても、引き続き扱い量の低減により生産も減ってきているので、作業手順や設備のメンテナンスを行い今まで以上に電力と化石燃料の使用を削減し100%達成できるよう努めてまいります。

水島作業所 田中 満

<廃棄物>

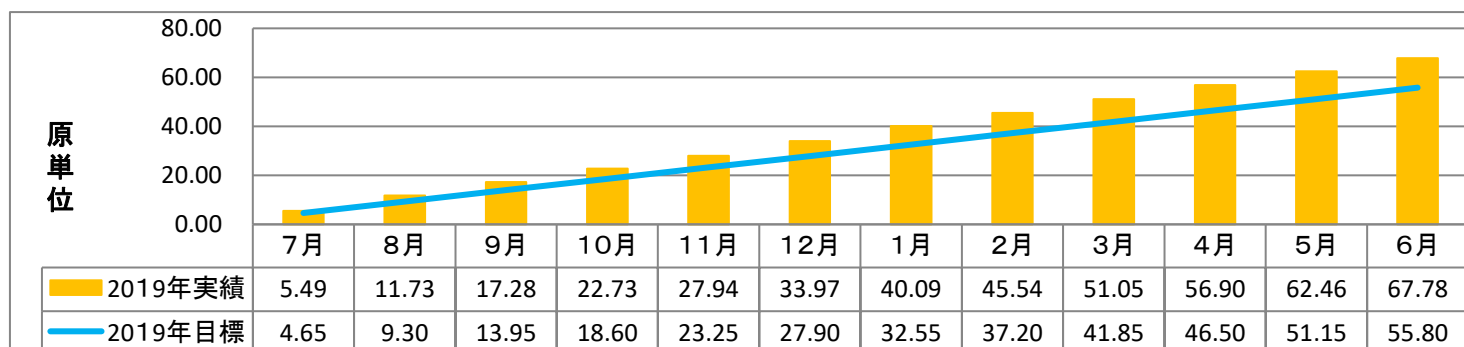
中国の環境規制により再生利用分の出荷先が限定される中、廃棄物を国内で再生利用できるよう中間処理することで再生資源化率の向上に繋がった。

次年度は、縦型破砕機等の設備を備えた新工場が稼働予定であり、廃棄物を今まで以上に個々の素材に破碎選別することにより再生資源化率の目標値を達成できるよう努めていきたいとします。

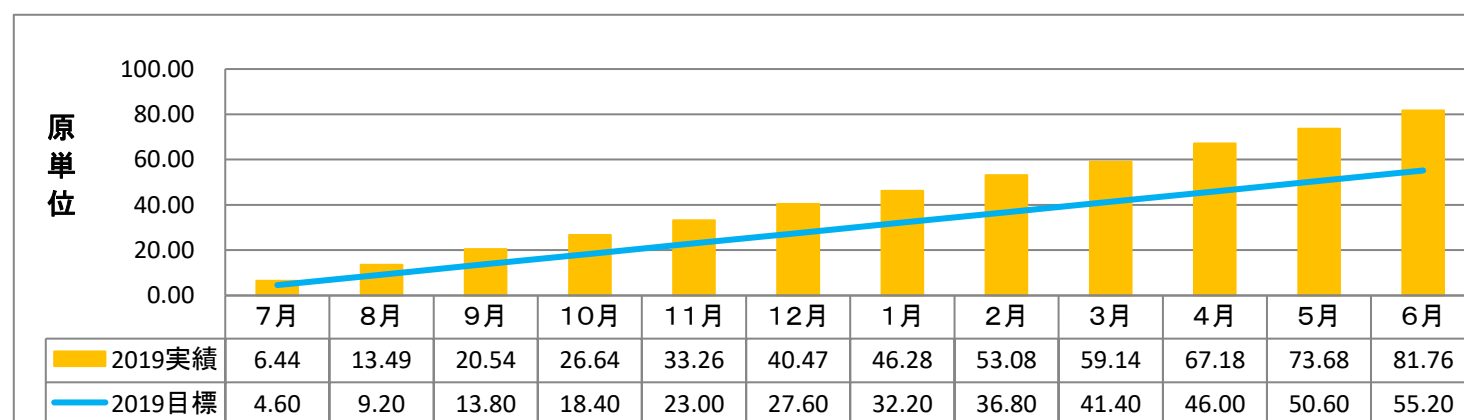
製鋼原料部 小畑 勇

◆ 月間目標と実績の比較 ～加算式グラフ～

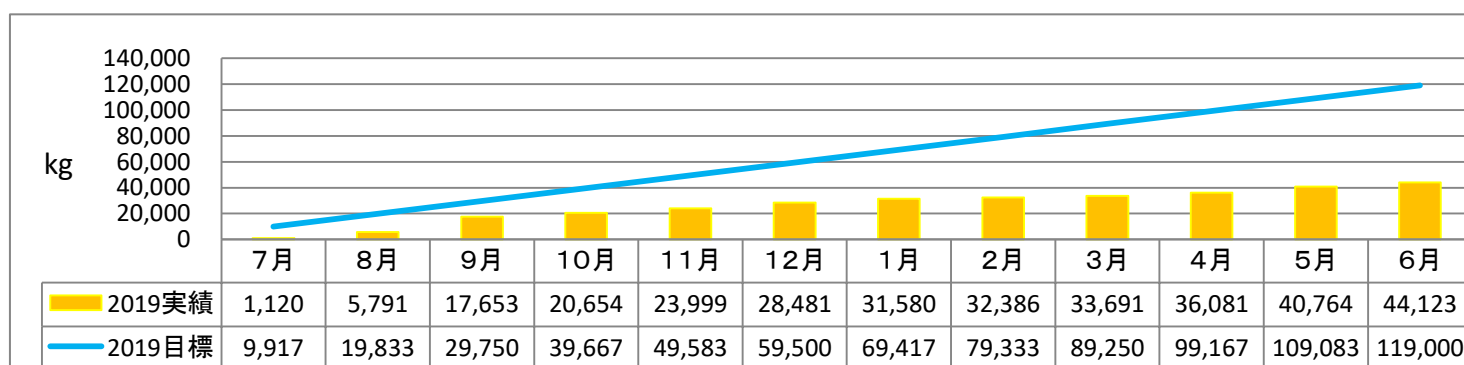
温室効果ガス 電力CO₂ 原単位 ※トあたり使用量(kg-CO₂/t)



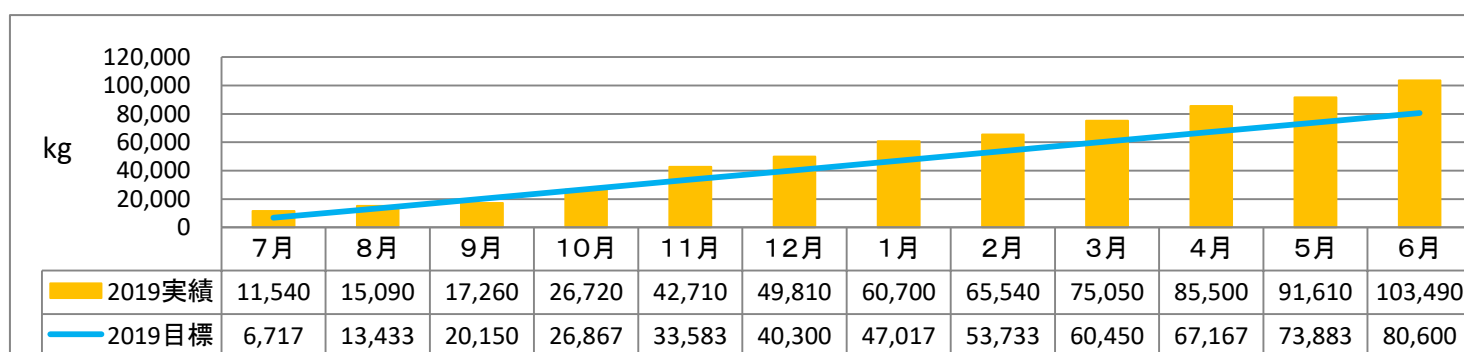
温室効果ガス 化石燃料CO₂ 原単位 ※トあたり使用量(kg-CO₂/t)



産業廃棄物 ※自社排出分(kg)



一般廃棄物 ※倉敷環境センター(kg)



※月間目標は年間目標の平均数値になります。



受託した産業廃棄物の処理量

2019年度（ 2019年 7月 ～ 2020年 6月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬（排出業者～処分場）				118.26
（排出業者～田中商会）		中間処理物		228.29
収集運搬量合計				346.55
中間処理		金属屑	切断	467.27
		紙屑	圧縮	19.68
		木屑	破砕	30.03
		廃プラ	破砕	390.35
		ガラス陶磁器	破砕	34.39
		がれき	破砕	2.01
	うち再資源化等	（金属屑）	切断	467.27
		（紙屑）	圧縮	19.68
		（木屑）	破砕	30.03
		（廃プラ）	破砕	24.59
		再資源化等量小計		
中間処理合計				943.73
最終処分				
最終処分量合計				0.00
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	廃プラ	安定型埋立（委託）	365.76
		ガラス陶磁器屑	安定型埋立（委託）	34.39
		がれき	安定型埋立（委託）	2.01
	再資源化 等	金属・紙屑	破砕又は圧縮後各メーカーへ	486.95
		廃プラ	燃料化（委託）	30.03
		木屑	焼却（炭化）（委託）	24.59
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計				943.73



環境への負荷の状況(取りまとめ表)

2019年度 (2019年 7月 ~ 2020年 6月)

環境への負荷			単位	2019年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素		Kg－CO2	1,190,249.04
	()		Kg－CO2	
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量		t	118.26
	中間処理量		t	943.73
	うち再資源化等量		t	541.57
	最終処分量		t	0.00
	中間処理後の産廃の処分量		t	402.16
	中間処理後の産廃の再資源化量		t	541.57
③廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	熱回収	t	103.49
		最終処分量	t	0.00
			t	
	産業廃棄物	再生利用	t	33.87
		最終処分量	t	12.77
			t	
④－1 総排水量	公共用水域		m³	655.75
	下水道		m³	1,967.25
④－2 水使用量	上水		m³	2,623.00
	工業用水		m³	0.00
	地下水		m³	0.00
⑤化学物質使用量			Kg	986.85
⑥エネルギー使用量	購入電力		MJ	7,750,483.16
	化石燃料		MJ	9,226,624.79
	新エネルギー		MJ	0.00
	その他		MJ	0.00
⑦物質使用量	資源使用量		t	0.00
	循環資源使用量		t	93,437.31
⑧サイト内で循環的利用を 行っている物質等量	利用された物質量		t	0.00
	水の利用量		m³	0.00



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました
尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟ありませんでした。

法令等の名称		該当する 条項等	適用される要求事項	最終改定日	違反がないかチェック	
					12月	6月
基本・一般	○環境基本法	第8条	・事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	H30.6.13	○	○
	○振動規制法	第5条	・特定工場等に係る規制基準を遵守	H26.6.18	○	○
		第6条	・特定施設設置の届出			
	○騒音規制法	第5条	・特定工場等に係る規制基準を遵守	H26.6.18	○	○
		第6条	・特定施設設置の届出			
	大気	●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第6条	・特定製品(業務用エアコン、冷蔵等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊	R1.6.14	○
第19条			・引取証明書による回収・破壊の工程の確認			
第27条			第一種フロン類充填回収業者の登録			
水質	○水質汚濁防止法	第2条	・水質基準の遵守	H29.6.2	○	○
	●下水道法	第10条	・下水道への放流	H27.5.20	○	○
	●浄化槽法	第5条	・設置または変更時の届出	R1.6.19	○	○
		第8～10条	・保守点検			
第11条		・定期検査				
悪臭	○悪臭防止法	第7条	・規制基準の遵守義務	H23.12.14	○	○
		第10条	・事故時の措置と報告			
廃棄物・リサイクル	○循環型社会形成推進基本法	第11条	・廃棄物なることの抑制に努める	H24.6.27	○	○
	●廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第6条	・産業廃棄物収集運搬車へのマニフェスト・許可証等の書面備え付け	H29.6.16	○	○
		第7条	・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要			
		第12条	・廃棄物の保管管理 ・マニフェストの保存管理			
		第13条	・帳簿の管理			
		第14条	・産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ・許可業者に委託(一廃は許可証の確認) ・許可業者に委託(産廃は契約) ・マニフェスト発行・返送遅延時の届出 ・マニフェスト交付状況の報告			
		第20条の2	・岡山県廃棄物再生事業者登録			
		施行例8条	・専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託			
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条上	・ポリ塩化ビフェニル廃棄物	H28.5.2	○	○
	●資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	・専ら物リサイクル化	H26.6.13	○	○
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)	第4条	・事業者の責務(分別排出の協力)	H23.8.30	○	○
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	・TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	R29.6.16	○	○
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	・環境物品等を選択するよう努める	H27.9.11	○	○
	●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)		・解体時のリサイクル化	H26.6.4	○	○
●使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条	・自動車の所有者の責務 ・自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	R1.6.14	○	○	
その他	●消防法	第21条の4	・火災報知機の設置(工場500㎡以上) ・屋内消火栓の設置(工場700㎡以上)	H30.6.27	○	○
		第31条の4	・消防用設備等の点検と報告			
	●水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)		・産業廃棄物処理及び保管基準の遵守 ・委託基準の遵守	R1.6.14	○	○

●遵守義務 ○遵守努力義務

◆ 代表者による全体の評価と見直し

項目	代表者による評価
環境目標の達成状況	自社発生産業廃棄物、水管理は達成したが化石燃料・電力・自社一般廃棄物が残念ながら目標に達成できなかった。
環境活動計画の運用結果	電力・化石燃料の目標未達は残念だが一廃・産廃の再資源化率は目標達成を継続している。
全体評価	真備水害品の処理もほぼ一段落、順調に処理作業も進行でき標準在庫に近づいた。作業所・工作所、コロナウイルスの影響で更に悪化。製鋼原料部も影響がでてきた。市中の廃棄品も減少するであろう経済状況であり、取扱量増加に努めたい。

※環境目標達成の有無

目標達成できた場合 → 目標の設定方法やレベルに問題はないか検証する

目標達成できなかった場合 → 達成できなかった原因を明らかにする

項目	見直しの有無	有の場合はその指示内容
環境方針	無	
環境目標	有り	金属・古紙以外の再生・再燃化率を更に高める。
環境活動計画	有り	今秋玉島新工場(破碎機)の竣工により処理能力超増加、設備能力の材料収集に努める。
環境経営システム全般	無	

※見直しの結果、改善が必要だと感じた場合には改善に必要な指示を出す



環境活動及びその他の活動への取り組み

地域清掃活動への参加(年2回)

- ・今年度はコロナ禍により地域清掃が一回だけになりました。
- ・社内の草取り風景(写真)



近隣小学校の四年生を招いてのリサイクル社会科見学



- ・毎年小学生を招き環境やリサイクルについての課外授業を行い、環境問題やリサイクルについての知識を深めてもらいます。

訓練及び教育

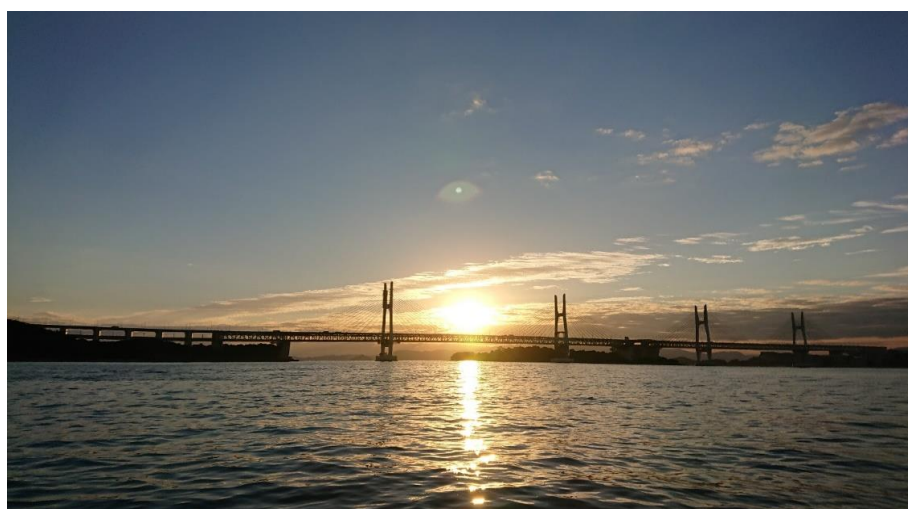
- ・今年の防災訓練は実際に放水をしました。 ※他3回(KY教育等)



The earth is defended by recycling.
It challenges the recycling of limited natural resources.

Re-Cycle is Re-Fresh

リサイクルで地球を護る



株式会社 田中商会

<https://www.tanaka-rc.co.jp/>

本社・製鋼原料部

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1395

TEL(086)465-3050

FAX(086)465-3051

製紙原料部

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1550

TEL(086)466-1066

FAX(086)465-3601

工作所

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1543

TEL(086)465-7866

FAX(086)466-0441

水島作業所

〒712-8073

岡山県倉敷市水島西通り1丁目1950-4

TEL(086)446-4036

FAX(086)445-1561